

彙報

研究会 於図書館研究室

二月六日 竹中清之助氏

オーストラリア経
済と日本

四月三〇日 柳川英磨氏

筋電図による徒手
体操研究

六月二五日 朝倉哲夫氏

羽仁五郎「都市の
論理」批判

七月一〇日 田口邦雄氏・染野啓子氏

大学立法をめぐる諸問題について

新入会員

朝倉哲夫 平塚市寺田縄九八〇

磯崎健之助 横須賀市池上町二の四の一

宮本英三郎 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘一二〇

編集後記

続発する大学紛争と大学立法の強行採決という異常な事態の中で大学教育の在り方、さらに大学の社会的な存在理由が問われている。今や大学は歴史的な転換点に立っているといえるであろう。しかも、この傾向は世界的な現象でもある。われわれ大学に関係ある者として、あるべき大学像について真剣に考えなくてはならない時期に遭遇しているのである。横浜商大が紛争の渦中にならないからといってこの問題を素通りすることは許されまい。

この時期に横浜商大論集第三巻第一号を予定通り刊行しえたことは幸いであった。今後どのような大学像が指向されるにせよ学問に対する地味で真摯な努力が評価されないことはあるまい。この意味で着実に内容の充実をはかりながらその号数を増加することができるとは編集者としては大きなよろこびである。

また、内容的に、学生諸君の研究の指針となることを願い、研究ノート、書評、新刊紹介の欄を設け、若干の改善を加えた。活用されんことを期待する。

(大沢一雄・染野啓子)